

令和2年3月19日  
卒業おめでとう号  
横浜市立日吉台小学

教育目標

みずから生きる

ともに生きる 日吉台の子

# ひよげだい

## 令和元年度 卒業生の皆さんへ

校長 玉置 恭美

交わす挨拶が「お久しぶりです」という、今までにない卒業の日。でも今日は皆さんが、「卒業生」となる、節目の日です。小学校生活を終え、それぞれの中学校でそれぞれの道を進み始める記念の日です。ご卒業おめでとうございます。

一人ひとりに卒業証書を渡し、顔を見るごとに思い出がよみがえります。5年生の時から、校外行事と一緒にきましたね。海を見ながらのお弁当や、音楽鑑賞会、そして修学旅行。その度に、たくさんのやさしさや思いやり、そして礼儀正しさに触れて、嬉しかったです。自主的に考えて行動する頼もしさも経験を積むごとに身につきましたね。

小学校6年間、特にこの1年間の皆さんの成長は目を見張るものがありました。記録的な暑さの中、実施した運動会。学校全体をリードする6年生の姿がありました。途中で打ち切りとなったときに流した涙は、最後の運動会を全力で最後までやり切りたかった、という悔しさの涙でした。第二部の運動会で、決して力を抜くことなく全力を尽くした姿はすばらしかったです。4月、3人の担任の先生が、1年後の目標を定めてくれました。それに向け、精一杯の力で皆さんを育ててくれた担任の先生たち。常に優しく、時に厳しく、指導してくれた、その言葉のすべてが大きな大きな愛であることを忘れないでください。一つ一つは小さいけれど、大切な言葉、思いの積み重ね、その成果が、今の皆さんです。厳しい状況の中、練習を重ねて、保護者や先生方に成長と感謝を伝えることができた巣立ちの会。あの姿は、とても輝いていて、誇らしかったです。

卒業して中学生となる、皆さん。今よりずっと広い世界に出てゆくことになります。もっと多くの人に出会います。先生や保護者に頼っていた小学校とは違い、これからは自分で判断し、自分の責任で行動しなければならないことが増えていきます。壁に突き当たったり、悩んだりすることもあるかもしれませんが、それを乗り越え解決する力の素を、皆さんは日吉台小学校で身に付けました。迷ったときは、小学校の先生たちの教えを思い出し、正しく判断し、行動してみましょう。ずっと応援しています。

日吉のまちについて調べ、実際に戦争、日吉大空襲を経験した、地域の大先輩に話を聞く機会を持ちました。日吉のまちのこれからを担い、まちの歴史を伝えると共に、6年間見守ってくださった地域の皆さんに感謝し、地域のために何かができる人になってくれることを期待します。

学校で給食を食べ、みんなと遊ぶ。普通の日々を過ごすことが幸せだ、と感じたここ1か月でした。「一期一会」一生の中で、今という瞬間は二度と来ません。日吉台小学校での出会いは宝です。これからも「今」という時を決して無駄にせず、一つ一つの出会いを大切にしてください。中学校へ行ったら、自分が自信を持って進む道を、素敵な仲間と共に歩んでください。太陽に向かって伸びる新芽のように。

Never say never. You can go your own way. Good luck in your future.

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。6年間、様々なご協力をいただき、心より感謝いたします。お子様の中学校でのご活躍と皆様のご健勝をお祈りいたします。

